

## 平成24年度に建設工事で発生した事故事例（流出による事故）

### 事故概要:

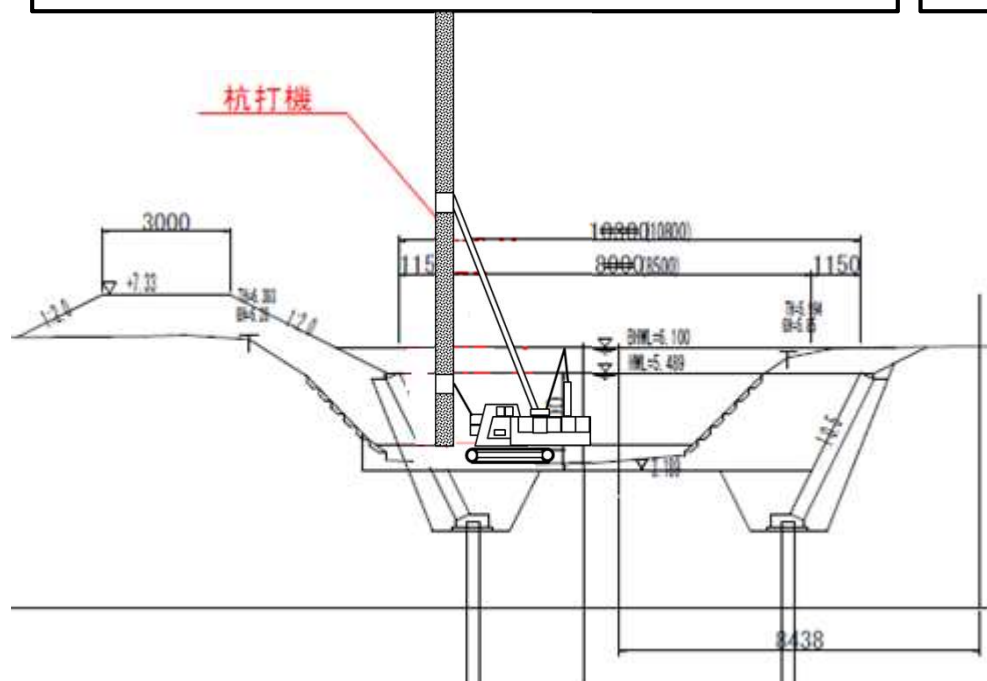
使用していた杭打機が故障(油圧ホースが破損)し、油漏れ対策を実施しながら修理し、油を吸着シートで対応していたが後日の降雨により土砂から滲み出た油が、河川へ一部流出した。

### 事故原因:

- ・機械について定期自主検査や始業前点検を適切に行っていたが、杭打機が古かったため破損した
- ・土砂に染み込んだ油が流出することまで思いが至らなかった

### 改善対策:

- ・河川付近では故障を想定して吸着シートを常備する
- ・万が一に備え下流環境に影響が無いよう吸着シートを設置する



分類:基礎工、杭打

被害状況:油が河川に流出、実質被害はなし

## 令和3年度に建設工事で発生した事故事例（飛来物・落下物事故）

### 【事故概要】

基礎杭の掘削工事において、岩盤掘削を行うダウンザホールハンマーを稼働させるため、2台のコンプレッサーを接続して使用していた。その接続部である圧縮調整ポンプのオイル残量を確認する際、圧縮された空気を内部に残したまま蓋を外したため、エンジンオイルが工事施工ヤードに隣接する休耕田及びその北側の駐車場に飛散し、油分を付着させた。

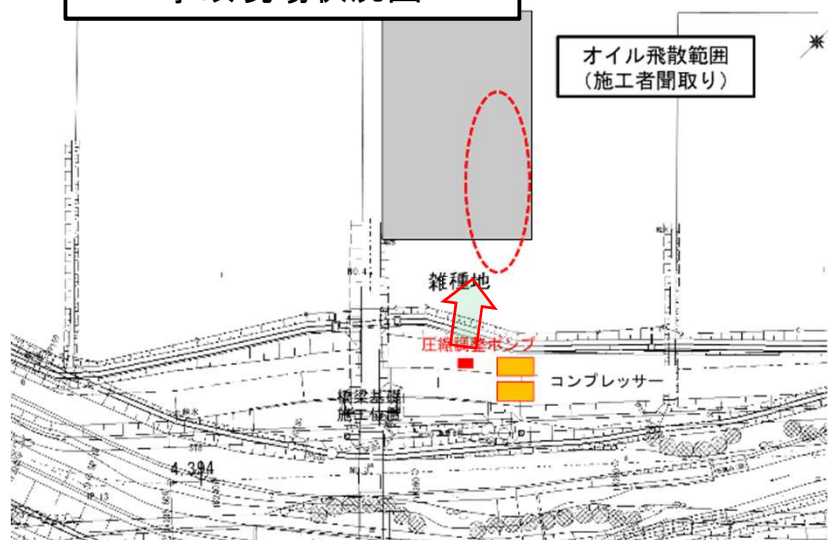
### 【事故原因】

- ・基礎杭の掘削作業に伴う使用機械等の取扱い上の留意点等について、作業前打合せにより現場代理人や主任技術者から作業員に対して周知徹底されておらず、日常的な作業であることから、作業が作業員任せとなっていた。
- ・コンプレッサー接続機器のオイル残量確認といった細かな作業にまで、安全上の注意喚起等が行き渡っておらず、作業手順に不明確な部分があった。

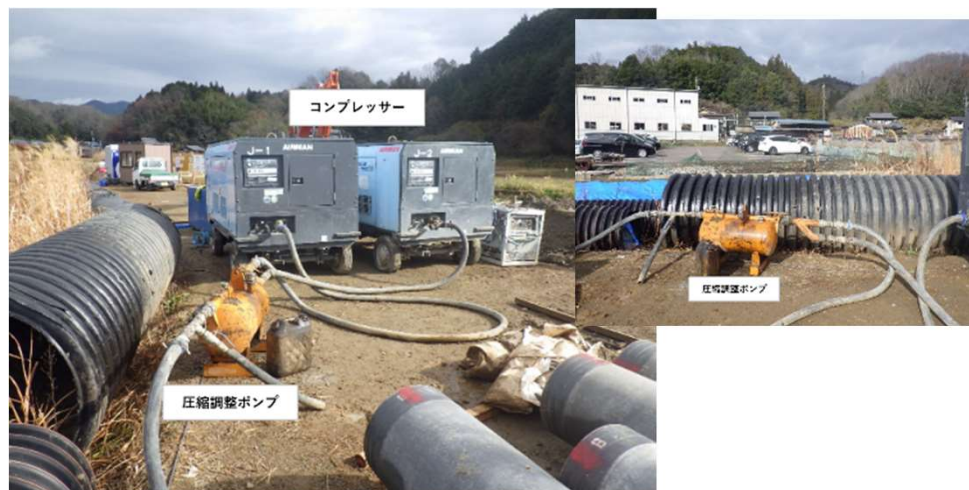
### 【改善対策】

- ・現場代理人や主任技術者は、日常的な作業であっても作業前打合せ等で作業の留意点や危険性などの周知を徹底する。
- ・作業前の機器点検等で作業手順を2人以上で確認し、危険性や問題点などを再確認することで、作業員の安全管理意識の向上を図る。
- ・圧縮調整ポンプの蓋開閉時に、減圧作業が必要となることを明示し、作業手順を明確とする

### 事故現場状況図



### 事故現場状況写真



【分類】基礎工、杭打ち

【被害状況】公衆災害 一般車両4台が油分による汚損 隣接地へ油分飛散